

千歳地域 SOS ネットワーク 対応ハンドブック

2020年版

千歳地域 SOS ネットワークでは、行方不明者を地域のさまざまな機関や団体等と協力して早期に発見・保護し、いのちと暮らしをまもり支援していく仕組みとして、千歳地域 SOS ネットワーク運営協議会を設置し、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組んでいます。

○千歳地域搜索ネットワーク

千歳警察署から、所在不明者（行方不明者）の搜索要請があった場合、SOS ネットワーク事務局から協力事業者へ所在不明者情報を発信し、早期の発見・保護および通報等の協力を依頼する。

○千歳地域見守りネットワーク

協力事業者が日常業務において高齢者等の異変に気がついた場合、千歳地域 SOS ネットワーク事務局へ連絡する。緊急と思われる場合は、救急車の要請や千歳警察署への連絡に努める。

千歳地域 SOS ネットワーク事務局：社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会

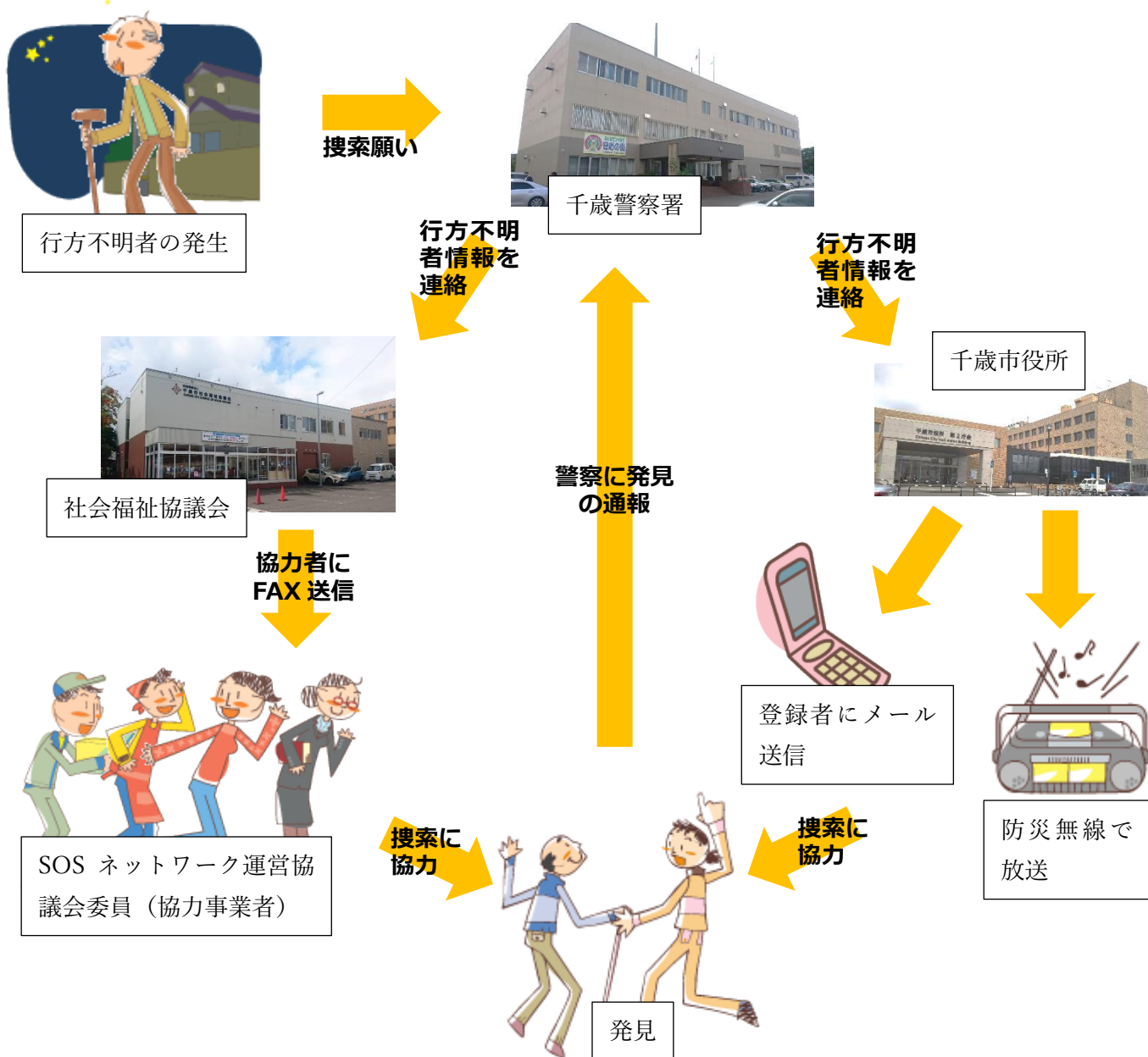
千歳市東雲町 1 丁目 11 番地

TEL:0123-27-2525 FAX:0123-27-2528

作成：千歳市社会福祉協議会

千歳市認知症地域支援推進員

千歳地域 SOS ネットワークの仕組み



●事前登録制度

道に迷ってしまい行方不明になるおそれのある方に、本人情報を事前に登録していただき、早期発見・保護に役立てる制度です。

問合せ先は：SOS ネットワーク事務局（千歳市社会福祉協議会） 27-2525

●メール配信サービス

千歳市が運用するメール配信サービスで、登録している方に「未帰宅者情報」としてメールを配信し、より多くの方に協力いただき早期発見・保護につなげるための制度です。

登録手続きは：千歳市役所ホームページ (<https://www.city.chitose.lg.jp/>)

行方不明者への声かけのしかた

声のかけ方に「これ」という正解はありませんが、いくつか例をお伝えします。また、知らない人に声をかけるのはできないと思った場合の方法も参考にしてください。

①悪い方法

- ×後ろから声をかける
- ×急に名前を呼ぶ
- ×早口で責め立てるように話す
- ×「迷子になっていたから探した」などプライドを傷つける言葉かけをするなど



②良い方法



- 正面からゆっくり目線を合わせて
- 散歩中にたまたま声をかけたような感じで（「良い天気ですね」「寒いですね」など）
- （場合によって）「何かお困りですか？」「何かお手伝いできることはありますか？」など

③声をかけられないとき

- 警察や SOS ネットワーク事務局に通報
- 背格好（服装などの身なり）、歩いている現在の場所・向かっている方向を知らせる



※声をかけられなくとも、「こんな人を見つけた！」という通報は、**早期発見につながる大事な情報**です。
おかしいと感じたら、まず連絡を！

観察のしかた

いざ声をかけようとしても、どんなタイミングで話しかければ良いのかわからない。どう声をかけたら良いか分からない。どんな人が行方不明者なのかを判断するポイントをいくつか挙げます。

- 近寄りすぎず**、やや遠巻きに
 - 服装の違和感**を見る・・・季節にそぐわない服装（夏に厚着、冬に薄着）、靴を履いていない・冬にサンダルなど
 - 何度も何度も**同じ場所を行ったり来たりしている
 - 不安そうに**キョロキョロしている、**急に**動かなくなる
- など

声をかけられる側の気持ち

認知症で道に迷っている方も、迷っている以外はほかの人とほとんど変わりません。

探している人が声をかけるのに慣れていないように、道に迷っている人も「知らない人に声をかけられる」という行為には慣れていないのです。

- 声をかける人と同じで、かけられる側も**まったく知らない人と話すのは『怖い』**
- いきなり声をかけられると**警戒**する
- パニックになっている最中に声をかけられると、**余計にパニックになる**

声をかけられる側の気持ちも考えて接することも大切です。落ち着いて、こころと時間の余裕をもって**対応を。**



千歳市社会福祉協議会 HP はこちら
<https://www.chitose-shakyo.or.jp>



千歳市認知症地域支援推進員
Facebook はこちら
[Facebook.com/h.c.dementia](https://www.facebook.com/h.c.dementia)